

■第3回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 緑グループ

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
商業		<ul style="list-style-type: none"> <li>○商業は、中央のように集まり易いところに集まるのが一般的である（次頁の図中のA）</li> <li>○自動車を利用した商業地にならざるを得ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり三法を活用し、旧田名部地区の中心市街地の活性化を図る</li> <li>○白地地域については、規制することも考えられる</li> </ul>
工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧田名部川の砂防ダムで川の流れが悪く、水質が悪化しているので、湾の環境も考えるべきである</li> <li>○湾の改良等を行う場合は、水質等の環境を考えてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原子力の保守等の原子力関係の企業を誘致するべきである</li> <li>○関根浜の海洋観測船を下北埠頭に移動させる</li> <li>○自衛隊を利用し、港湾を活用したいが、現状の港湾だと浅いので、浚渫<small>しゅんせつ</small>等を行い大型船が入れるようにする</li> </ul>	
第一次産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○熊、猿、鹿などによるレタスへの被害が拡大している</li> <li>○漁業が衰退している</li> <li>○良い浜があるが、水が汚い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの「マイナス思考」を「プラス思考」に変える必要がある</li> <li>○脇野沢には大手の水産企業を誘致する（漁業の工業化）</li> <li>○漁業の株式会社化が必要である</li> <li>○畜産業の大手の企業を誘致する</li> <li>○林業のチップ工業を考える</li> <li>○耕作放棄地を活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業と商業の連携を図り、地域のものを地域で生産⇒配給⇒消費といったサイクルシステムを考える</li> <li>○林業の活性化を図るため、間伐事業を活用する</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下北は秘境が売りになっている</li> <li>○大畑地区に宿泊施設がない</li> <li>○道路整備が行われると観光客は、宿泊せずに通過してしまう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下北の食材を利用した観光産業を育成していく</li> <li>○宿泊客のターゲットを安いもの目当ての宿泊客から、良いのだと高くてもよいと思っている宿泊客に変える</li> <li>○少年自然の家を観光施設として開放する</li> <li>○あわび取り等のめったにできない体験を有料化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧放牧地であった人切山を保全する</li> </ul>

産業のための交通

- 幹線となる道路は必要である
- 公共交通の利便性を向上できる仕組みを考える

むつ都市計画図

